

## 都道府県データ

# 東京都

- 社会貢献活動拠出額……………73,550,375円
- 社会貢献活動拠出件数……………284件

- 総人口……………12,570,904人  
男性……………6,261,068人  
女性……………6,309,836人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>あたり)……………5,748人
  - 世帯数……………5,879,579世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

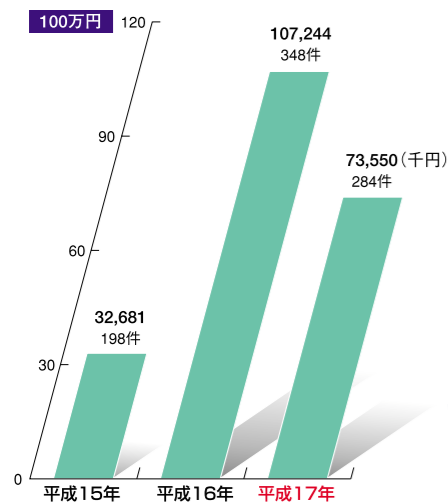


東京都遊技業協同組合  
理事長  
原田 寛氏

### 社会との共生のために多角的な貢献活動を。

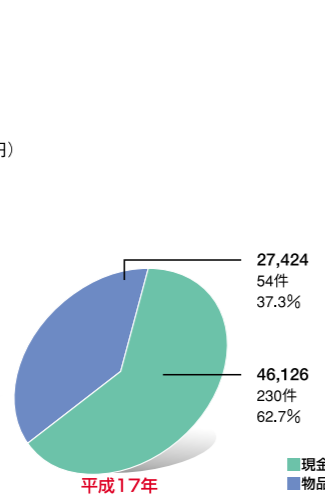
「身近で手軽な大衆娯楽」として発展してきたわが遊技業界は、社会との共生を願い、いろいろな形で社会貢献活動を展開してまいりました。当組合はもちろん、傘下単位組合(92組合)でも、それぞれの地域で活動しております。特に、青年部会では、若さと活力を発揮し、斬新で柔軟な思考の下、人的貢献を中心に活動しており、誇りに思います。

#### ■ 年別 拠出額と拠出件数



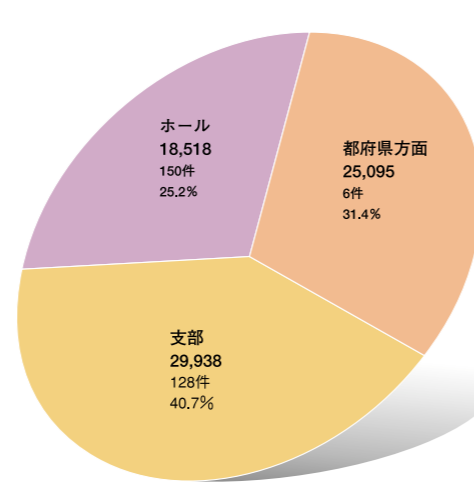
#### ■ 平成17年 現金・物品の割合

(単位:千円)



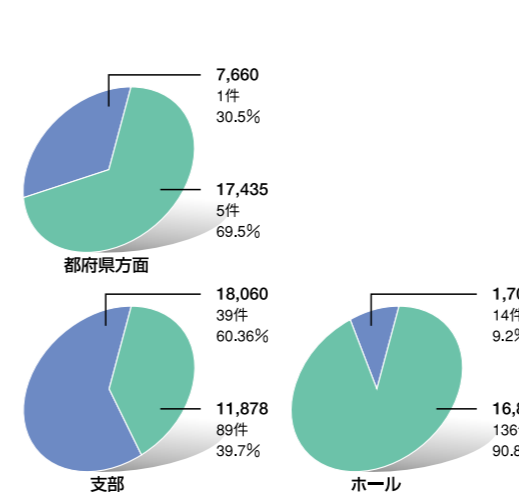
#### ■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)

(単位:千円)



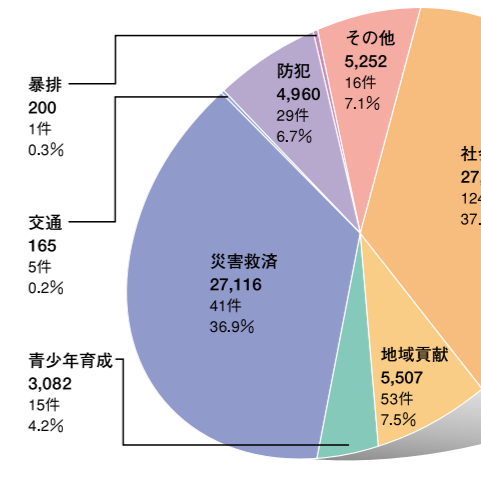
#### ■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)

(単位:千円)



#### ■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)

(単位:千円)



#### ●新潟県中越地震の被災地に救援物資を届ける

新潟県中越地震被災地である小千谷地区にボランティアチームを派遣し救援物資(2tロング車1台分)を届けた。また泉田新潟県知事に面会し、組合員からの義援金3,000万円を寄贈した。



泉田知事に直接、義援金を 救援物資を小千谷市役所へ

#### ●スマトラ沖大地震およびインド洋津波被害に支援金を寄付

青年部会が中心となり、A-NETによりメールおよびFAXにて義援金支援の呼びかけを行い、スマトラ沖大地震およびインド洋津波被害に対し「特定非営利活動法人 難民を助ける会」に500万円の寄付を行った。(写真提供:難民を助ける会)



津波で破壊された学校 子どもが描いた絵

#### ●「パチンコ・パチスロ依存症予防対策プログラム」運用開始

青年部会が中心となって行っている産学共同研究の一環として、早稲田大学理工学部・加藤諦三研究室とともに「パチンコ・パチスロ依存症予防対策プログラム」を提供するWebサイトの運用を開始した。



TOPページのコンテンツ 依存症チェックリストも

#### ●東京都「心の東京革命」主催の「親子の絆コンサート」に単独協賛

主におなかに赤ちゃんのいるお母さんとお父さん、また子育てに関心のある方々を対象に無料で招待、幼児教育の重要性を学ぶ講演と、心と体をリラックスさせるピアノ演奏を行った。



ピアノ演奏を楽しむ来場者 多湖名誉教授による講演

#### ●震災復興を描いた幼児向け絵本を制作し、幼稚園・保育園に寄贈

新潟県中越地震災害義援金の余剰金250万円で、復興を描いた幼児向け絵本(文・春野はな 絵・さかもと未明)を制作し、東京都内2,719カ所、新潟県内932カ所の幼稚園と保育園に3部ずつ寄贈した。



絵本の表紙 幼児向け避難マニュアルも掲載

#### ●パキスタン大地震の被災者支援に寄付

平成17年(2005年)10月に発生したパキスタン大地震の被災者を支援するため青年部会がA-NETで募金を呼びかけ、集まった約350万円にPIVOT基金20万円を加え「NPO法人難民を助ける会」に寄付した。(写真提供:難民を助ける会)



支援を待つひと 物資配布の様子

#### ●「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」にボランティア参加

知的障害者のスポーツの祭典「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」が、2月26日から8日間、長野県で開催され、青年部会員を中心に20名がボランティアとして大会運営をサポートした。



20名が大会運営をサポート アスリートにおみやげもプレゼント

#### ●東京都遊技業ボランティア基金(PIVOT基金)により、6団体を助成

#### ●世田谷区内の福祉施設に今年、28台目となる福祉車両を寄贈

#### ●八王子市内の知的障害者等163名を招き、「ふれ愛ボウリング大会」を開催